

東木ひさよ



ニコニコ通信 第14号

「笑顔 あふれるふじさわのまちへ！」

「ひとりの笑顔のために」走り続けて4年。12月定例会の一般質問、3月の27年度予算委員会の審議で、子育て・ひとり親家庭・若者・高齢者の支援等、みんなが元気になる施策の実現を訴えました。



妊娠・出産・育児・・・切れ目のない！

「新たな子育て支援」に取り組めます！

今後の重要な課題の一つ、少子化対策。若い世代が安心して結婚し、子育てができるよう、特に晩婚化・晩産化に対応した、新たな子育て支援を提案しました。具体的には、



- ①出産直後の休養のための産後ケア事業の創設
- ②藤沢版ネウボラ(フィンランド語で「相談どころ」)、ワンパッケージ型子育て支援の構築(妊娠から子どもの就学時まで、各地域で、かかりつけ保健師が定期的に懇談できる寄り添い型の相談支援)
- ③父親が伸び伸びと育児参加できるよう管理職の意識啓発「イクボス育成(上司が部下の子育てを応援)」

市内企業のワークライフバランス実態調査等。藤沢市として、これらすべての課題に前向きに取り組むとのことです。男女ともに子育てができる社会づくりを推進します！

「子どもの学習支援」「ひとり親家庭のサポート」が充実！

藤沢市内の「ひとり親家庭」は約2800世帯。保護者が非正規労働等で経済的に苦しく、塾に通うゆとりのないお子さんもいます。そこで、①ご本人が希望すれば自由に学べるよう「子どもの学習支援」の充実を要望。この1年半で市内NPO法人の協力で2か所に拡大、全員高校受験も合格し、参加者も増加しています！

②保護者の様々な悩みに対応できる「ひとり親応援の相談窓口」(仮称)の設置を要望。平成27年度は第一歩として相談員の拡充が実現できました！

お元気高齢者の生涯現役支援が前進！

高齢者の皆さんが自分らしい居場所と活躍場所を見つけられるよう「生涯現役支援」を訴えてきたところ、1月にシニアのマッチングイベント「地域活動見本市」が盛大に開催。今後、①地域に入るきっかけの「定年塾」の開催 ②シニア向けの趣味や新しい生きがい探しに役立つ小冊子の作成・ポータルサイトの開設を推進します！



障がい者の生活支援の充実を！

障がい者のご家族にとっては高校卒業後の生活に大きな不安を伴います。
まずは、①障がい者の通所施設の夕方までの延長 ②活動メニューの工夫
③送迎サービスの拡充 を要望しました！



みんなで支えあう地域づくりを！（ソーシャルキャピタル※お互い様・豊かな人間関係）

地域の関係性を豊かにすることを「ソーシャルキャピタルの醸成」と言います。高齢者・障がい者・子ども・若者……悩んでいる人はほっとかない！ 地域の子どもたちは、みんなわが子のように大切にする、心温かで活気あふれる地域づくりを進めます！

東木ひさよ 粘って実現！最近の実績

不育症治療の助成が始まります！

妊娠はするものの流産を繰り返す「不育症」。治療は保険適用外で多額の費用がかかります。市独自で助成金（費用の2分の1、上限は1年間で30万円、夫婦の合計所得が730万円未満）が創設！不育症でお悩みの方にご利用いただけますように。



通学路の安全対策を拡充！

◎中里小学校付近の新しい道路に信号機を設置！

道路開設から2年間、交通量が少なく設置には不利な条件の中、渡辺県議と連携して警察に何度も申し入れ、「長期展望に立って優先を」と訴えた結果、この3月に信号機を設置できました！

◎慶応大学入口の交差点にガードレール設置！

昨年夏、衝突した車が歩道に乗り上げる大きな事故が2件も発生。この歩道は小学生の通学路になっており、「早急な対策を」と訴えた結果、植栽だった道沿いにガードレールを設置できました！



中学校給食の拡大が決まりました！

昨年秋に開始された湘南台中・善行中に加えて、平成27年10月からは六会中・明治中・第一中、合計5校に拡大実施することが決定しました。あと残り14校、早く実施できるよう推進します！

（写真は中学生が書いた絵をプリントした藤沢独自のランチボックス。楽しいランチタイムになるよう提案したものです）



東木ひさよプロフィール 北海道旭川市出身、旭川東高、明治学院大学卒

藤沢市議会議員1期 2014年度厚生環境常任委員会副委員長 Tel・fax88-1125